

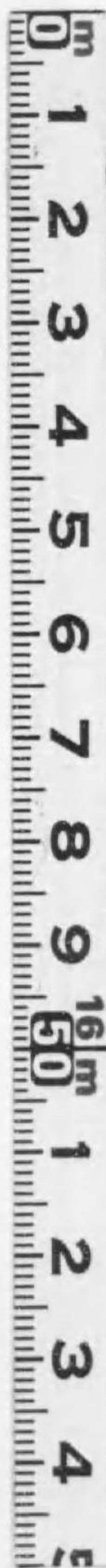
特116

717

地拍子附
大小太鼓
笛手配附

小
鍛
治

外九ノ四



始



特116
717

無季
ワキ宗 近
ワキ大 臣
前シテ童 子後シテ
梅荷明神

小鍛冶

五番目(畧脇能) 外九番ノ四

詞ツキレ

これは一條の院に仕へ存る橘の道成にて

ゆ。まても今夜帝不思議の御告まします

により。三條の小鍛冶宗近を召し。侍鍛を打

たせらるべきとの勅説にてゆ間。只今宗近

が私をへと急ぎゆ。いかにこの家の内に

宗近があるか
宗近とは誰にてわたり



1086141

ゆぞ ^{ワキツレ} これは一條の院の勅使にてある
ぞとよ。さても帝 ^{ミカド} 今夜不思議の御告 ^{ツゲ} まし
ますにより。宗近を召し侍 ^{ツレ} 劔を打たせら
るべきとの勅 ^{チカク} 護なり。急いで仕 ^{ツレ} りゆへ
^{ワキ} 宣旨 ^{ノカミ} 畏 ^シ けて承 ^{ツレ} りゆ。さやうの侍 ^{ツレ} 劔を仕 ^{ツレ} る
べきには。われに劣 ^{オト} らぬ者相 ^{ツレ} 鎚 ^{ツレ} を仕 ^{ツレ} りて
こそ。侍 ^{ツレ} 劔も成 ^{ツレ} 熟 ^{ツレ} ゆべけれ。これはとかく

^{ワキツレ} の御返 ^{ツレ} 事を申しかねたるばかりなり
げにげに汝 ^{ツレ} がやすところは理 ^{ツレ} なれども。
帝 ^{ミカド} 不思議の御告 ^{ツレ} ましたませば。頼 ^{ツレ} も
く思 ^{ツレ} ひつつ。はやはや領 ^{ツレ} 承 ^{ツレ} 申 ^{ツレ} すべしと。

カ、ル 上音
剛吟 拍子に合はず
重 ^{ツレ} ねて宣 ^{ツレ} 旨 ^{ツレ} ありければ
^{ワキ} このうへは。トリ
平乗
鬼 ^{ツレ} にもか ^{ツレ} かくにもむ ^{ツレ} ねち ^{ツレ} かが ^{ツレ} ち
(高音)

一 拍
二 拍
三 拍
四 拍
五 拍
六 拍
七 拍
八 拍

ヨイ合 地

鬼上音に拍も拍か拍く拍に拍も拍む拍ね拍ち拍か拍が拍。

ヨイ合

し拍ん拍た拍い拍こ拍こ拍に拍き拍は拍ま拍り拍て拍エ拍。

ヨイ合

み拍だ拍る拍う拍る拍こ拍こ拍ら拍な拍り拍け拍り拍い拍。

ツマケ

す拍ぐ拍な拍る拍い拍ま拍の拍序拍代拍な拍れば拍。

ヨイ合

若拍し拍も拍奇拍ど拍く拍の拍ラ拍あ拍り拍や拍せ拍ん拍。

ツマケ

ヤア中高音き拍り拍な拍が拍ら拍序拍せ拍い拍た拍ら拍。

ヨイ合

そ拍れ拍の拍み拍い拍た拍の拍む拍こ拍こ拍ろ拍か拍ア拍な拍。

まろむ

そ拍れ拍の拍み拍た拍の拍む拍こ拍こ拍ろ拍か拍ア拍な拍。

(双ニツ)

言ワキ悟ゴ道ダウ漸ダン一イチ大ダイ事ジをシ作サせセ出イさサれレてテゆユものモノかカ。

な。かやうの御事は神カを頼み申すな

らではと存じゆ。某が氏の神は稻荷の明

神なれば。これより直に稻荷に集り。祈

誓申さばやと存じ

呼掛シテなう朗々なう朗々あれな

小取名

E

るは三條の小鏡治宗近にて御入りゆか

不思議フキやななべてならざる御事コトのわが

名をさして宣ノタマふは。いかなる人にてまし

ますぞ。雲クモの上なる帝ミカドより。劔ツルギを打ちて

集ツらせよと。汝ニに作オホありしよなう

さればこそそれにつけてもなほなほ不思議フキ

議の御事ミコトかな。劔ツルギの勅オウケも唯今なるを早

くも知らし召メさるる事。返タす返タすも不審フシン

なり。げにげに不審フシンはさる事なれど

も。われのみ知ればよそ人ヒトまでも

聲コエあり。地チに響ヒビく。

小謡

手出シ

手出

ヨイ

地	上音	二拍
か	上音	三拍
べ	上音	四拍
に	上音	五拍
み	上音	六拍
み	上音	七拍
。	上音	八拍
ト	上音	九拍
リ	上音	十拍

い	上音	二拍
は	上音	三拍
の	上音	四拍
の	上音	五拍
の	上音	六拍
の	上音	七拍
い	上音	八拍
ふ	上音	九拍
世	上音	十拍
の	上音	十一拍
な	上音	十二拍
か	上音	十三拍
に	上音	十四拍
。	上音	十五拍

い	上音	二拍
は	上音	三拍
の	上音	四拍
の	上音	五拍
の	上音	六拍
の	上音	七拍
い	上音	八拍
ふ	上音	九拍
世	上音	十拍
の	上音	十一拍
な	上音	十二拍
か	上音	十三拍
に	上音	十四拍
。	上音	十五拍

カフキル上音天アマに

中チウアアにニキキ切キ

(Eインンググ高高音音)

小鏡

四

シテ 漢家本朝に於いて。劍の威徳（地名）申すに及

ばぬ奇持と加や（音）

ま（音）たわがうのそのはじめ

いんわうじふニだ（音）い

けいかうて（音）おわう（音）

みこのりのおん名をば（音）

ま（音）ただけとまうししが

とら夷トリ（音）

を（音）た（音）い治（音）の（音）ち（音）く（音）を（音）受（音）う（音）け（音）

せ（音）き（音）トリ（音）

いの（音）が（音）し（音）も（音）は（音）る（音）か（音）な（音）る（音）ッ（音）

あ（音）づ（音）ま（音）の（音）た（音）び（音）の（音）ら（音）み（音）ち（音）す（音）が（音）ら（音）ア（音）

伊勢や尾はりの（音）う（音）

み（音）づ（音）ら（音）に（音）い（音）立（音）つ（音）な（音）み（音）ま（音）で（音）も（音）

ツリケ

かへるころとよとらやみ

ヨイ合

いつかわれもかへるなみ

留ルカ

のろも手にあらめやと

フク

おかもひつづけて行くほどに

下リ

上端ここトリ

和心

やアかしてこののたたかひに

カト三ツ

地じんトリ

一拍 二拍 三拍 四拍 五拍 六拍 七拍 八拍

馬ア「がんくひに身をくだき

チリカケ

血はたふろくのたはさなる

三ツ

てエころ波たてながし

手返

数度「に「およべるえびすも

ハツケ

かぶさを腕いでほこを伏せ

チカケ

みな「な「か「う「き「ん「を「ま「う「し「け「り

ヨスカ

ン「み「こ「と「の「序「穿「よ「り「序

ハ

ハ

一 拍 二 拍 三 拍 四 拍 五 拍 六 拍 七 拍 八 拍

テスエ

テスエ

ヨイ合

ヨイ合

ヨイ合

ツツケ

ツツケ

ツツケ

ツツケ

ツツケ

ツツケ

ツツケ

ツツケ

ツツケ

ツツケ

ツツケ

ツツケ

ツツケ

ツツケ

ツツケ

ツツケ

ツツケ

ツツケ

ツツケ

ツツケ

ツツケ

ツツケ

ツツケ

ツツケ

ツツケ

ツツケ

ツツケ

ツツケ

ツツケ

ツツケ

ツツケ

かーりー場をーはーじーめーたまへーり

ころはーかみ無づき

二ー十日あまーりのこそなれば

四ーかのもみ葉もふゆがれのど

ほーやまにーかかろーうすゆき

ながーめさせーたまひしに

上端えび

ヤラハ

美

トリ

イすうー四ーはうをーかこみつづ

地 加ーれ野のーくさーに火を懸け

餘ーえんしーきりーに燃え上が

かたートリ

攻めつづみをー打ちかーけて

怒ーえんがートリ

はーなちてかかりければ

をーらーはーなちてかかりければ

をーらーはーなちてかかりければ

(チ放)

●仕舞

(ツツケ)

上端シテみ中音い中音こ中音ら中音と中音は中音つ中音る中音ぎ中音を中音抜中音いて中音
 地中音み中音い中音こ中音ら中音と中音は中音つ中音る中音ぎ中音を中音抜中音いて中音

(五キカケ)

あ中音た中音り中音を中音は中音ら中音ひ中音い中音。た中音ち中音ま中音ち中音に中音

(六ツツケ)

ほ上音ら中音の中音ほ上音も上音立中音ち中音し中音り中音ぞ中音け中音と中音

(カケ切)

四中音は中音ら中音の中音く中音き中音を中音。薙中音ぎ中音は中音ら中音へ中音ば中音ア中音

(ツツケ)

の中音ら中音い中音せ中音い中音れ中音あ中音ら中音し中音と中音な中音り中音て中音

(ツツケ)

ほ中音の中音ほ中音も中音く中音き中音も中音。吹中音き中音か中音へ中音さ中音れ中音て中音

(ツツケ)

て中音ん中音に中音か中音が中音や中音き中音地中音に中音満中音ち中音満中音ち中音て中音

(チカケ 三眼目)

み中音ら中音火中音は中音か中音へ中音つ中音て中音か中音た中音き中音を中音焼中音け中音ば中音

(チステ)

ア中音。数中音ま中音し中音ん中音騎中音の中音い中音え中音び中音す中音ど中音も中音は中音

(カケ切)

た中音ち中音ま中音ち中音こ中音こ中音に中音て中音失中音せ中音て中音ん中音げ中音り中音

(和)

ち中音い中音。四中音か中音い中音を中音さ中音ま中音り中音い中音て中音

小段名

七

小段名

七

一拍 二拍 三拍 四拍 五拍 六拍 七拍 八拍

じーん 家戸ぎしをわすれしも

そーのくさなぎのゆゑとかアヤ

たーだいートリ

まッア ーなんぢが打つべき

そーのずゑゑさうの序つるぎも

いーかでそれにはおとるべき

つーたふるいへへのむねちかよ

フ元 傳 家 宗 近

フセト

フニツ

フキ 漢家本郷に於て劔の威徳時に取つての祝

言なり。さてきて御身はいかなる人ぞ

よし誰とてもただ頼めまづまづ勅の序劔

を。打つべき壇を飾りつつ。その時われを

待ち給はば

シテ 剛吟 上音 拍子に合はず

(キ出シ)

(ツッケ)

(カケ四)

(ツッケ)

(キカケ
タムヌ)

(セドシ)

地上音つ通うカりカきカのカ身カをカへカんカじカいカ

つヤアうヤアりヤアきヤアのヤア身ヤアをヤアへヤアんヤアじヤアいヤア

てヤエヤ。かヤなヤらヤずヤ。そヤのヤ時ヤ。せヤつヤ

にヤまヤるヤ。りヤ會ヤひヤてヤおヤんヤちヤかヤらヤをヤ

つヤけヤまヤ。うヤすヤべヤしヤ。待ヤちヤたヤまヤへヤ

さヤらヤ。ゆヤふヤ。くヤもヤのヤ。うヤ縮ヤなヤりヤやヤまヤ。。

行ヤくヤ。かヤもヤ。知ヤらヤずヤ。失ヤせヤにヤけヤりヤ

行ナくナ。方ナもナ。ラナ知ナらナずナ。失ナせナにナけナりナ

シテ中入(門守) 狂言 退いて後作り物堂を出だし、後ワキ出づるノツトキ出す

後ワキ 剛吟 宗上音近上音勅上音に上音隨上音ひ上音て上音。即上音ち上音壇上音に上音あ上音が上音り上音つ上音つ上音。不上音

浄シをシ隔シつシるシ。七シ重シのシ注シ連シ。四シ方シにシ本シ尊シをシか

けシ奉シりシ。幣シ帛シをシ捧シげシ。作シぎシ願シはシくシはシ。宗シ

近シ時シにシ至シりシてシ。人シ皇シ六シ十シ六シ代シ。一シ條シのシ院シのシ序シ

守シにシ。そシのシ職シのシ譽シをシ蒙シるシ。こシれシ私シのシ力シ

小段名

上

(シカケ)
(地)

か
に
ち
か
ら
を
あ
は
せ

(押カケ)
(地)

て
た
び
た
ま
へ
と
て

(地)

エ
へ
は
く
を
さ
さ
げ

(地)
(ツツケ)

つ
つ
て
ん
に
あ
ふ

(地)
(押カケ)

ろ
ぎ
か
う
べ
を
地
に
つ

(地)

い
け
エ
こ
の
ら
た
ん
せ

(地)

い
聞
き
入
れ
エ
な
ふ
受

(地)
(ツツケ)

ウ
せ
し
め
た
ま
へ

(シカケ)
(ツツケ)

や
謹
上
再
拜
出
ノ
囃
子
早
笛
止
歩
込
歩
返

(初段)
(初段)

か
い
か
に
や
む
ね
ち

(奇)
(奇)
(奇)
(奇)
(奇)

か
い
か
に
の
つ
る
ち

(初段)
(初段)

い
か
に
や
む
ね
ち

(シカケ)
(ツツケ)

か
い
か
に
の
つ
る
ち

(シカケ)
(ツツケ)

イ
打
つ
べ
き
時
せ
り

拍
一
二
三
四
五
六
七
八

拍
一
二
三
四
五
六
七
八

(奇四)

(ウケ)

(ウケ)

(奇四)

(三鼓)

(奇通)

(又之)

イ

ヲ

ア

ウ

引

る

ヤ

ハ

シ

地

引

る

ヤ

を

ハ

シ

地

引

る

ヤ

し

ハ

シ

地

引

る

ヤ

表

ハ

シ

地

引

る

ヤ

へ

ハ

シ

地

引

る

ヤ

の

ハ

シ

地

引

る

ヤ

つ

ハ

シ

地

引

る

ヤ

ち

ハ

シ

地

引

る

ヤ

を

ハ

シ

地

引

る

ヤ

仕舞

(奇込)

ちなり。表オモテに小鍛治コカヂ宗近ムネチカと打つ

神體シテ対ツケ

の身ミ子コなればナレバ小狐コキツと裏ウラにあニきキやヤかカにニ

地打チウチ

(奇出シ)

ウ半声ちチなナでデまマつツるル序シづズるルぎギのノ

(ウケ)

やヤいイばバはハくクもモをヲみミだダじジたタれレ

(下リ)

ばバアアまマトトリリ

(ツケ)

のノむムらラくクもモこコもモこコなナれレやヤ

一拍 二拍 三拍 四拍 五拍 六拍 七拍 八拍

て

エ

お

び

た

た

し

や

詞

かく

て

序

劔

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

つ

を

打

終

